

里都まち魅力創生事業の概要

里都まちガーデン賑わいと交流拠点整備事業

1. 事業内容

町が町民や「里都まちC A F E」の管理運営者と協働して、交流人口増加や地域経済活性化に取り組む拠点である「里都まちC A F E」の魅力を向上させるため、拠点施設と周辺部を「里都まちG A R D E N」として一体的に整備する。

①里都まちK I T C H E N（キッチン）の建築

ピザ釜・かまどを設置し、料理教室などの体験ができる施設を造る。

ピザ釜・かまどは中井町商工振興会が手作りで作製。

②里都まちK I D S G A R D E N（キッズガーデン）の整備

保育園の園庭をイメージした芝生のキッズスペースを整備。

③里都まちM I N I P A R K（ミニパーク）の整備

健康増進やコミュニティ活動などを実施できる芝生の多目的スペースを整備。

④レストハウスにウッドデッキを設置

ステージとしての活用や腰を掛けて休憩することができるウッドデッキを設置。

⑤駐車場の整備

アスファルト舗装。

キッチンカーを活用したイベントを検討。



里都まち魅力創生拠点整備プロジェクト事業報告

1. なかい里都まちC A F E プレオープン

平成 29 年 5 月 21 日（日）に「なかい里都まちC A F E」がプレオープンとなった。当日は、1,000 人を超える来場者を記録した。カフェの外では約 20 店舗のお店が出店をし、町出身のアーティストである小澤紗来さんらによる音楽イベントも開催され、大いに盛り上がった。



2. なかい里都まちC A F Eの施設貸出を開始

なかい里都まちC A F Eの施設貸出を平成 29 年 7 月より開始。施設を貸し出すことによって、新たな取組が生まれ町の活性化に結び付く。

これまでに、スイーツデコのワークショップや骨密度測定会などを開催。日中だけではなく夜の施設利用を可能にし、映画上映会なども行った。

「町を盛り上げるためにこんな企画をやりたい」という意欲ある方が出てきており、主体的にまちづくりに参画する町民・団体が増えている。



3. 連携した取組

町で推進する里都まちスポーツプロジェクト、ブランドプロジェクト、プロモーションプロジェクトの取組をなかい里都まちC A F Eを中心拠点として展開している。

また、隣接する里やま直売所と連携をして、直売所がオープンしていない平日に直売所の農産物をなかい里都まちC A F Eで販売したり、町内の小中学生の作品を展示した。

昨年度より開催している「里都まち♡なかい /ルディック・ウォーク」

カフェ店内で教室を開いた。また、手軽に/ルディック・ウォークができるように、ボールの無料貸し出しを開始した。



町で開発を進めているブランド特産品を販売。



広告バナーによる町の魅力の発信



里やま直売所で取扱っている商品をなかい里都まちCAFEで販売。町の情報も発信。



小中学生の作品を展示



4. メディアによる取材等

なかい里都まちC A F Eのプレオープンに際し、テレビ取材、タウンニュースや新聞社による取材を受けた。フリーマガジンに掲載していただくなど、なかい里都まちC A F Eの存在、中井町の魅力を広く発信した。

また、「なかい里都まちC A F Eをもっと知ってもらう、もっと素敵な場所にするためにはどのようなことができるか」について考える授業を中村小学校4年1組で実施。子どもたちが考えた成果を形にするため、小学生がチラシを作成し、町の公共施設に掲示した。その後、全作品をなかい里都まちC A F Eに集約し掲示した。

なお、本年3月になかい里都まちC A F Eのホームページを立ち上げた。今後、様々な媒体を活用しながら情報発信を行っていく。



5. 平成30年度の事業予定

本年3月で里都まちガーデン拠点整備工事が完了し、里都まち交流拠点が整備された。

これから、ピザ釜とかまどの作製に着手し、完成次第グランドオープンを予定している。

なかい里都まちC A F Eのプレオープンの際には、町で活躍している団体等の協力を得て、プレオープン記念のイベントを実施したが、グランドオープンにおいても記念イベントを計画しており、プレオープン以上に盛り上げたいと考えている。

また、この施設を活用して次のような取組を生み出していく。

○里都まちキッチンに設置するピザ釜・かまど（中井町商工振興会のお釜プロジェクトと連携）を活用した料理体験教室などの開催。

○里都まちミニパーク（芝生エリア）を活用した健康体操やヨガ教室の開催。

○キッチンカーを活用したイベントの創出。

これらの他にも、里都まち交流拠点を使ってこんなことをやってみたいという方の発掘を行い、町民や団体などが自主的に自由な活動ができるように環境を整え、情報を発信していく。

今年は「なかい誕生 110 年」という記念すべき年でもあるため、町全体で各事業を盛り上げていく。



スポーツとブランドが融合した「里都まちなかい魅力発信プロジェクト」

1. 事業内容

目的

中井中央公園や里山等の地域資源を活用した里都まちスポーツと、本町の多種多様な農産物を活用した里都まちブランドの融合により、町の魅力の発信に磨きをかけ、里都まち交流拠点を中心に憩いと交流の場を提供する。人の流れを呼び込むことにより、地域の活性化を図り、まちの賑わいを創出する。

概要

○ 里都まち魅力創生拠点整備プロジェクト

交流拠点施設を充実させ、交流拠点を中心とした活動を生み出し、魅力を創出することで、交流人口の増加を図る。

○ 里都まちブランドプロジェクト

農商工・町民が連携をして、町内の農産物を活用した特産品として商品化を図り、「里都まちブランド」として認定をおこない経済活性化を図る。

○ 里都まちスポーツプロジェクト

町の特長である自然環境やスポーツ環境を活用し、スポーツの振興や健康づくり活動の推進を図るとともに、スポーツを通じて、交流人口・定住人口の増加や地域の活性化を図る。

○ 里都まちプロモーションプロジェクト

町のイメージアップと認知度向上のため、文化・自然・観光などの情報について、SNS等を積極的に用いながら、効果的な情報発信を図る。

里都まちブランドプロジェクト

1. 里都まちブランド開発支援

平成 29 年 8 月 3 日～9 月 15 日の期間で、里都まちブランド開発支援補助を希望する方を募集した。以下の品への支援として、総額 1,995 千円の補助を実施。

- ・高級シフォンケーキ、高級プリン
- ・中井町産トマトを使用したトマトソース
- ・地元農産物、特産品を盛り込んだピザ
- ・中井町の農産物を使用した焼き菓子
- ・中井町の豊かさ、自然を表した陶芸作品

2. 里都まち♡なかいブランド認証

平成 29 年 10 月 2 日～11 月 24 日の期間で、里都まちブランド認証商品を募集。合計で、11 事業者 18 商品の応募があった。平成 29 年 12 月 15 日と 19 日の二日間にわたって審査会を開催し、『なかいの逸品、太鼓判！』として 5 品をブランド認証した。

認証をされた商品は、里都まち♡なかいブランド認証品として、認証マークを利用することができる。加えて、町からの積極的な P R、ふるさと納税返礼品としての登録、商談会への出展の支援、なかい里都まち C A F E 等による販売を行い、販路開拓に向けて取り組んでいく。なお、審査の結果、認証とならなかった商品についても、審査会で指摘があった課題を解決しながら、認証に向けての改善に支援をしていく。

【認証商品】

- ・湘南アイスクリー
- ・緑みかんシロップ
- ・ぽんぽん麺
- ・小生姜の佃煮おかず
- ・みかん讃歌 みかんラーメン



3. 里都まちブランドワークショップ

【開催日】①平成 29 年 9 月 4 日 ②10 月 25 日 ③11 月 17 日 ④平成 30 年 1 月 31 日

【参加者】①22 名 ②16 名 ③12 名 ④14 名

【アドバイザー】M&D 研究所 濱田代表取締役

- 【テーマ】・商品のアイデアの整理の仕方
- ・アイデアを商品化する際のポイント
 - ・商品企画のつくり方 等

4. 里都まち♡なかいマルシェ

【開催日・会場】①平成 29 年 12 月 9 日（土） 横浜市青葉区 あざみ野マルシェ

②平成 30 年 1 月 20 日（土） 東京都 交通会館マルシェ

当日はお客さんの反応もよく、予定していた販売目標を概ね達成することができた。お客さんの中には、次回の開催日を尋ねてくる方もおり、町外でのイベント出店を継続して行うことが効果的であると考えられる。また、出店する側としても、消費者の生の声を聞くことができ、商品の見せ方や売り方などを見つめなおすよい機会となった。



5. 里都まちブランドマルシェ

平成 30 年 2 月 17 日（土）に里都まちスポーツプロジェクトの里都まち♡なかいキッズサイクルフェスティバルとの同時開催で、里都まちブランドマルシェを開催した。

新たに誕生した里都まち♡なかいブランド認証品を中心に、町のブランド特産品として開発を進めてきた商品が並んだ。



6. 里都まち♡なかい体験ツアー（バスツアー）

【開催日】平成30年3月11日（日）

【コース】あざみ野ガーデンズ 出発（DVDの放映等で町の魅力を紹介）

→ 中井町役場（町長挨拶、なかまるによる出迎え）

→ トマト園（見学・収穫体験）

→ みかんマルシェ・里山なかい市（買い物、石釜焼きのオリジナルピザの提供）

→ みかん園（見学、ドライみかんの試食）

→ ブルックス ショップ&カフェ（買い物、休憩）

あざみのガーデンズ 到着

【参加者】40名

※各所でお土産を配った。

※スタッフとして町民や学生がボランティアで参画した。



里都まちスポーツプロジェクト

1. 中井町スポーツ推進計画に関する意見交換会

平成 29 年 12 月 11 日に中井町スポーツ推進計画に関する意見交換会を開催し、町の文化・スポーツ関係者を中心に 40 名の参加があった。

昨年策定した中井町スポーツ推進計画の概要を説明し、現在の取組状況などを報告した。また、総合型地域スポーツクラブの政策的な背景、育成（設置）状況、必要性などについて、里都まちスポーツプロジェクト部会長より説明をした。

中井町スポーツ推進計画の概要の理解と、総合型地域スポーツクラブとはどういうものなのかを認識していただくことが本会の目的であり、参加者アンケートの結果を見るとある程度理解できたという回答が多かったことから、効果があったと評価できる。

一方で、具体的にどのようにすればよいのかイメージが難しいという回答も見られ、方向性の明確化が課題として挙げられる。関係者との意見交換を密にし、イメージを共有していくことが求められる。

2. 里都まち♥なかいノルディック・ウォーク

【第 1 回目】

○日 時 平成 29 年 12 月 16 日（土） 9 : 30 ~ 11 : 45

○場 所 中井中央公園 【座学】 なかい里都まち C A F E 内

【実技】 多目的広場周辺

○講 師 (社)全日本ノルディック・ウォーク連盟 公認指導員 2 名

○参加者 25 名（男性 11 名、女性 14 名）うち町外 3 名



【第 2 回目】

○日 時 平成 30 年 1 月 27 日（土） 9 : 30 ~ 12 : 40

○場 所 なかい里都まち C A F E をスタート・ゴールとする 8.6 k m コース

○講 師 (社)全日本ノルディック・ウォーク連盟 公認指導員 4 名

○参加者 26 名（男性 13 名、女性 13 名）うち町外 3 名



参加者のアンケート結果を見ると、ほぼ全員の方がまた参加したいと回答しており、昨年度の参加者 13 名から倍の方が参加をしているため、新しいスポーツとして浸透してきたことが伺える。一方で、町外の参加者が少ないため、中井町でノルディック・ウォークをすることの楽しさを広めていきたい。

今後ノルディック・ウォークを手軽にできるように、スポーツ・交流の拠点であるなかい里都まちC A F Eにウォーキングポールを設置。無料で貸し出しをしている。一般の利用者に使い方を説明できるように、スポーツ推進委員からなかい里都まちC A F Eのスタッフに、ウォーキングポールの長さの調整方法、グリップの握り方、歩き方を指導。



3. 中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会

【開催日】①平成 30 年 1 月 23 日 ② 2 月 13 日 ③ 3 月 19 日

【テーマ】・中井町における地域スポーツや地域生活をめぐる課題を考える。

・先行するクラブづくりの取り組みから学ぶ

※栃木県内の 2 クラブのマネージャーを招聘

・中井町にあった「地域スポーツクラブ」のあり方を提案する。

【参加者】町内の文化・スポーツ関係者

【コーディネーター】白鷗大学教育学部准教授藤井和彦氏

(里都まちスポーツプロジェクト部会 部会長)



4. 里都まち♡なかいキッズサイクルフェスティバル

平成 30 年 2 月 17 日（土）に里都まちブランドプロジェクトの里都まちブランドマルシェとの同時開催で、里都まち♡なかいキッズサイクルフェスティバルを開催した。

ランニングバイクレースには、ビギナーから 5・6 歳クラスまで 100 名のエントリーがあり、その他補助輪外し教室、ランニングバイク試乗会、縁日コーナーなどでは、町内外の親子連れの楽しむ姿が見られ、約 700 名の来場者により盛大に開催された。

また、運営には高校生ボランティアをはじめ、まちづくりパートナーなどボランティアスタッフの活躍も見られた。



里都まちプロモーションプロジェクト

1. シティプロモーションWG

【開催日】①平成 29 年 12 月 26 日 ②平成 30 年 1 月 18 日 ③2 月 6 日

【参加者】①28 名 ②25 名 ③22 名

昨年度のWGをもとに、より磨きあげる形で中井町の魅力を出し合い、それが誰にとって魅力となるのか。ターゲットをどんな人に絞り、どんなキーワードでPRをすれば興味をそそののかグループワークを行った。それに沿ったツアータイトルやツアー内容を考えるという手法で、ブランドメッセージの検討を行った。現在、メインターゲットとブランドメッセージは最終調整を行っている。



なお、3回のWGを通して、参加者から様々なアイデアが出てきており、それを今後の活動に実際に活かしていくために、最後に「今後こんな活動を展開していきたい」というアイデアを各参加者が発表をした。今後、町では、それに共感する方々を結び付けていく活動を考えていく。

2. 中井町シティプロモーション戦略指針を策定

【目的】

町の特徴を表した“里都まち”をコンセプトに、町の魅力と強みを活かしたシティプロモーションを展開し、愛着や誇りの醸成と町のブランド力の向上を目指すため、戦略的かつ効果的に魅力を発信していく必要があることから、シティプロモーション戦略指針を策定し、それに基づき、庁内や地域が一体感のあるブランドイメージのもと、連携しながらプロモーション活動を展開していく。

3. イベント出展

中井町をより多くの方にPRするために、次のイベントへの出展を行った。来場者にアンケート調査を行い、中井町に抱く印象や魅力に感じたこと、反対に中井町の足りないと思うところなどを回答してもらった。

また、イベントに出展した際に、他の出展ブースと比較して当町に足りないPR手法は何であるか、どういったアピールをすると来場者は食いつくのかといった観点で考え、出展を重ねるごとにPRのバージョンアップを図った。

＜平成29年度出展イベント（啓発ブースを設けたもの）＞

日程	イベント名	内容
5/21	なかい里都まちC A F E プレオープン	啓発ブース
7/11	東京スカイツリーPRイベント	啓発ブース
10/15	美・緑なかいフェスティバル	啓発ブース、アンケート
11/2・3	東海大学建学祭	啓発ブース
11/19	湘南ベルマーレ オールホームタウンデー	啓発ブース
12/17	湘南シクロクロス	啓発ブース、アンケート
1/26・27	花匂い移住フェア	啓発ブース
2/4	アシガラマルシェ	啓発ブース
2/17	キッズサイクルフェスティバル・ブランドマルシェ	啓発ブース、アンケート



4. 中井町の魅力発信

○中井町テーマソング『里都まちのうた』を放送

皆さんに聴いてもらい親しんでもらえるように、以下の放送に利用

- ・電話保留音（平成30年1月1日より）

役場に電話した際の電話保留音に、アレンジバージョンのテーマソングを利用

- ・防災無線（平成30年1月10日より）

中井中央公園限定で、短くアレンジしたバージョンを定時放送で利用

※将来的に町内全域の防災無線の定時試験放送での利用を目指し検証

○オリジナルのはっぴを制作し、各種イベント時に使用

○ピンバッジ、缶バッジ、町の焼き印が押された都まんじゅうなどのノベルティの充実



○小田急線つり革広告

中井町を知ってもらうため、利用者が日常的・反復的に広告媒体に接触する電車のつり革を活用し、中井町独自の広告を1年間小田急線1両分に掲載を続けることで、町外に向けた啓発を図っていく。



○なかまる LINE スタンプ

町民による企画検討の中でも事業提案がされた中、なかい誕生110年記念と連携し、国内ユーザー数では、Facebook や Twitter よりもユーザー数が多いと言われている LINE を通じて、使用してもらい町内外に広げていく。



イメージ（線画）